

## 東京トラウトカントリー溪流フライ教室

2010年1月10日（第2回）

担当：宮崎 俊太

### 溪流のフライフィッシングを 楽しむ

- 流れの中のトラウトを釣る

### 溪流を歩く

注意深く歩き、流れをよく観察することは必ず釣果につながります

- 流れを観察する

### 溪流魚を考える

トラウト達を知ることは溪流の釣りをより楽しくするでしょう

- トラウトはどこにいるのか
- フィッシュウインドウ
- 水の屈折率

### アプローチ

水辺から少し離れて、流れの手前から釣り始めるとトラウトを釣るチャンスが増えると思います

- ショート・リーダーについて
- 5ヤード（約4.5メートル）の距離感
- キャスティング練習

### 実釣

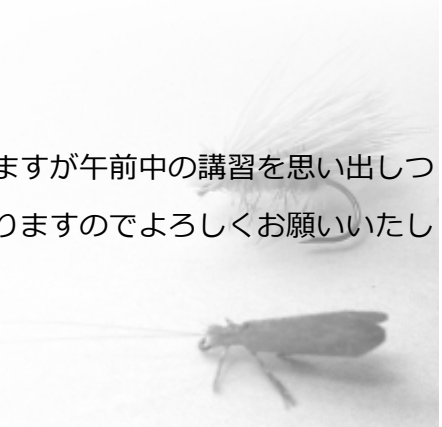
狙うポイントをよく観察して最適なポジションから最適なキャストします

- ドライフライで釣る
- マイポイントを見つける
- さらなる工夫

### その他

- タックルの取扱
- 質疑応答など

以上が午前中の講習の概略です。昼食の後、自由釣行となりますが午前中の講習を思い出しつつ、各自でトラウトを釣ってみてください。適時に講師が回りますのでよろしくお願いたします。



## 資料

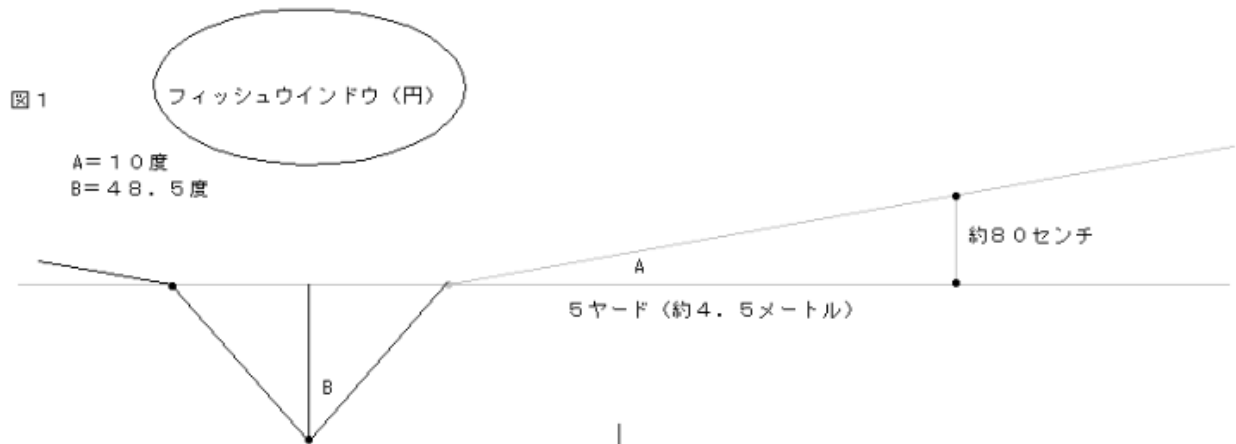
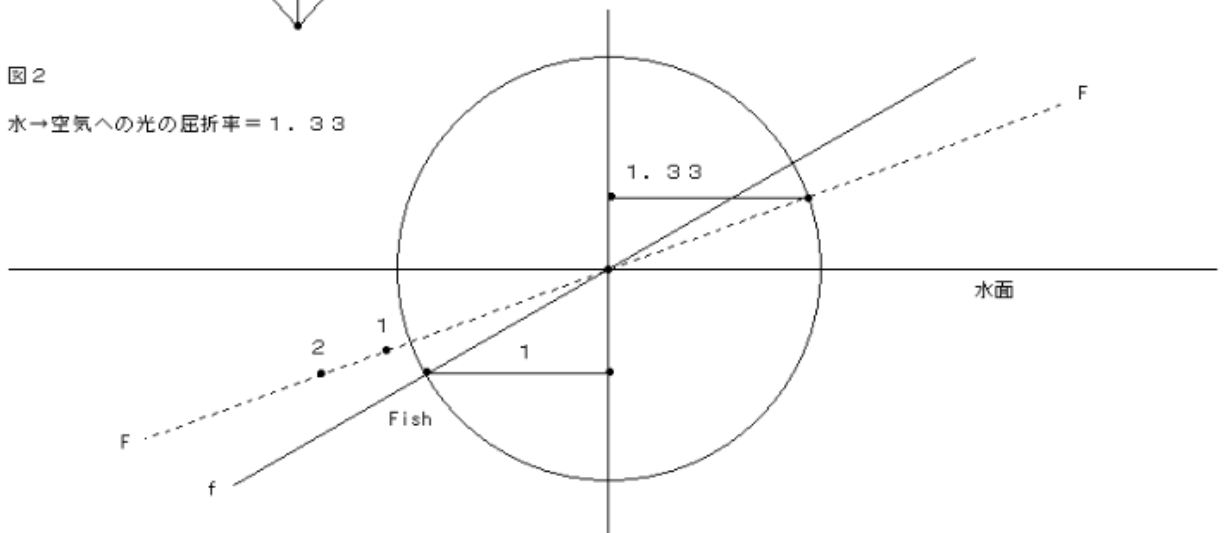


図2

水→空気への光の屈折率 = 1.33



### 溪流フライ教室担当・宮崎の自己紹介

- 57年、東京生まれ。2009年より奥多摩町川井在住
- 77年に初めてフライロッドを手にする
- 90年よりバンブーロッドを製作
- 93年よりバンブーロッド作りを専業とする
- 好きな釣り：溪流のフライフィッシング

